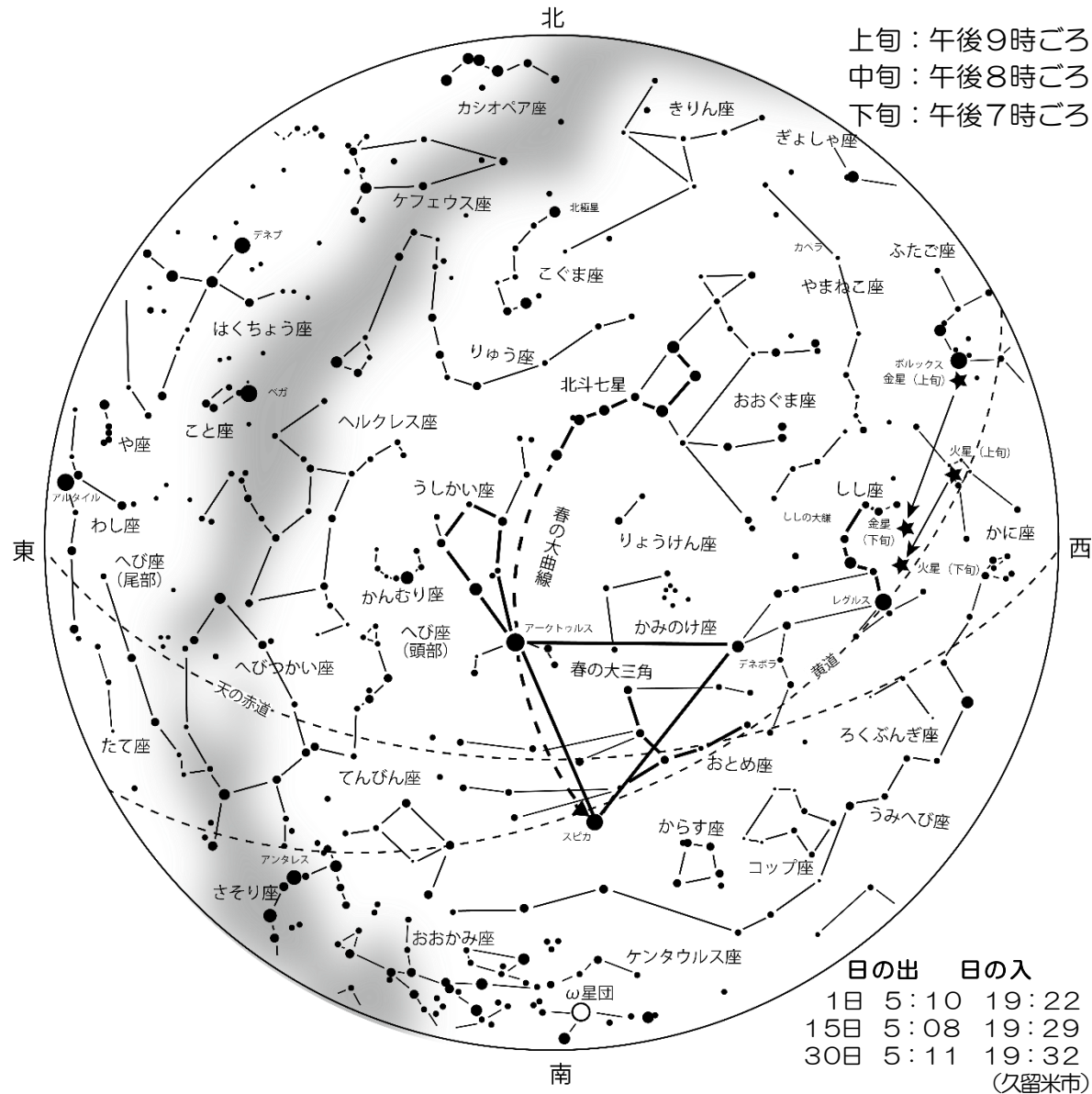


令和5年 6月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★6月の星空案内

今月は梅雨で曇りや雨の日が多くなり、星空を見ることができず機会が少なくなるかもしれませんが、星空には金星や火星などの惑星や、まだまだ春の星座たちが見えています。春の星座たちを見つけるには、まず北の空で7つの星を結んでできる「スプーン」のような星の並び、「北斗七星」を見つけましょう。北斗七星をスプーンに見立てた時、持ち手のカーブを南へのばしていくと、うしかい座の1等星アークトゥルスやおとめ座の1等星スピカを見つけることができます。北斗七星からスピカまでのばしたカーブを『春の大曲線』といいます。うしかい座はアークトゥルスから「ネクタイ」のような星の並び、おとめ座はスピカから「アルファベットのyの字」のような星の並びが目印です。アークトゥルスとスピカ、そして2等星のデネボラを結んでできる三角形を『春の大三角』といいます。デネボラには“ししのしっぽ”という意味があり、ここにはしし座を見つけることができます。デネボラが見つかりにくい場合は「?マーク」を裏返したような星の並び、『ししの大鎌』を目印にしし座を見つけることができます。

曇りや雨の日が多い6月ですが、梅雨の晴れ間には『春の大曲線』と『春の大三角』を目印に春の星座たちを探してみてください。

【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- 水星 (-0.9 等前後) : くじら座付近→ふたご座付近 観望に適さない。
- ☆金星 (-4.5 等前後) : ふたご座付近→しし座付近 日の入り後、西の空でひととき明るく輝く。
- ☆火星 (1.6 等前後) : かに座→しし座付近 日の入り後、西の空で輝く。
- 木星 (-2.1 等前後) : くじら座付近 日の出前、東の空で明るく輝く。
- ☆土星 (0.8 等前後) : みずがめ座付近 日の出前、南東の空で輝く。

注目の天文現象(6月) ~早起きをして土星と木星に見かけ上接近する月を楽しもう~

- 6月の午前4時頃、東南東の空には土星と木星の2つの惑星が見えています。
- 6月10日の午前4時には、月が土星に見かけ上近づきます。月は翌日11日に下弦を迎えるため、0.8等の明るさの土星はそれほど目立ちませんが、月との見かけ上の距離が近く、付近の明るい星は1等星のフォーマルハウトだけですので苦労せずに見つけることができます。
- 6月14日の午前4時には、月が木星に見かけ上近づきます。この月は新月まであと4日あるため、まだまだ明るく光っています。木星も-2.1等で、月の光に埋もれることなく競うように輝いています。
- 今月は少しだけ早起きをして、2つの惑星に見かけ上近づく月を楽しんでみてはいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
4	日	○ 満月 (12:42) 金星が東方最大離角	18	日	● 新月 (13:37)
			21	水	夏至 (久留米市の日の出 5:09 日の入り 19:31)
11	日	● 下弦 (4:31)	26	月	● 上弦 (16:50)